

産業医研修会のご案内

令和3年度沖縄県医師会産業医研修会

	日時	場所	基礎 研修	生涯 研修	カリキュラム	単位	講師名	講師所属	研修テーマ	備考
H	1月19日(水) 18:30-21:30	沖縄県医師会館 3階ホール	後期	専門	(1) 総論	1.5	(1) 青木 一雄	(1) 沖縄産業保健総合支援 センター所長	(1) 産業医の役割と職務～ 産業保健の現状と今後の 展望～	※認定産業医 制度単位申請中
			後期	専門	(2) 健康管理	1.5	(2) 崎間 敦	(2) 琉球大学保健管理セ ンター所長・沖縄産業 保健総合支援センター 産業医学相談員	(2) With CORONA時代 における健康管理	
I	1月29日(土) 15:00-18:00	沖縄県医師会館 3階ホール	後期	専門	(1) メンタルヘルス 対策	1.5	(1) 山本 和儀	(1) 山本クリニック院長・ 沖縄産業保健総合支援 センターメンタルヘル ス相談員	(1) With&Postコロナ時 代の職場メンタルヘル ス対策～メンタルヘル ス不調の1次予防から復職支 援までの update～	
			後期	更新	(2) 労働衛生関 係法規と関係 通達の改正	1.5	(2) 加藤 浩司	(2) 社会保険労務士・医療 勤務環境改善支援セン ター アドバイザー	(2) 働き方改革における、安 衛法等の改正動向と労務 管理上の諸課題～副業・ 兼業の促進に関するガイ ドライン等について～	

※単位制の研修につき、時間厳守をお願いします。遅刻や途中退室は単位認定ができませんのでご注意ください。

※研修テーマ等は変更になる場合があります。

沖縄県医師会業務1課 行 FAX(098-888-0089)

研修会参加申込票

参加希望の研修会に○印を付けてください。

申込み研修	H	令和4年1月19日(水)	
	I	令和4年1月29日(土)	
参加申込者氏名			
施設名			
TEL			
FAX			
Mailアドレス			
認定区分	認定医 ・ 未認定医		
有効期限 ※認定医の場合	年 月 日		

※申込後にキャンセルする場合は、お早めにご連絡をお願い致します。

※新型コロナウイルス感染症感染拡大防止対策のため人数制限等により、受講できない場合もありますのでご了承ください。

沖縄県医師会 業務1課
TEL: 098-888-0087
FAX: 098-888-0089

2021
年度

(後期)産業保健研修会予定表

本研修会は
無料です。

沖縄産業保健総合支援センターでは、事業場の産業保健担当者等に対して産業保健に関する基礎的又は専門的・実践的な研修会を開催しています。参加ご希望の方は、当センターホームページの「申込フォーム」又は、下欄「申込書」に記載の上、**切らずに**(FAX:098-859-6176)お申し込み下さい。

※定員に達した場合は、受付を終了させていただきます。詳しくは当センターホームページでご確認下さい。

申込みの際にご記入いただいた個人情報は、本会における参加名簿作成のために使用するほか、当センターが行う研修・セミナー等の御案内に使用させていただきますことがあります。また、本研修会予定表以外の研修会の開催や研修会が変更・中止になることがございますので、ホームページでご確認下さい。



当センターホームページにも研修会の案内を掲載しておりますので、ご参照下さい。(https://www.okinawas.johas.go.jp)

さんぽセンターおきなわ

検索

●産業医研修 (生涯研修2単位:「産業医学研修手帳(Ⅱ)」をご持参ください。【研修場所/沖縄産業支援センター 3階】

研修 番号	日 時	研 修 テーマ	内 容	講 師	研修会場
締切	10月6日(水) 18:30~20:30	職場の発達障害その理解と対応 (生涯専門)	発達障害特性は職場でどのように顕在化し、対応したらよいのか、具体的な理解と対応について。	佐藤 恵美 (精神保健福祉士) (公認心理師)	305 室
27	10月7日(木) 18:30~20:30	令和3年度 石綿関連疾患診断技術研修会 基礎研修(生涯実地)	「石綿による疾病の認定基準について」(平成24年3月29日付け基発第0329第2号)に関する説明、職場におけるアスベストばく露の形態と具体例のほか、ア.石綿に関する一般的知識、職域におけるばく露について、イ.労災補償について、ウ.石綿関連疾患の病態、診断及び臨床について	森永 謙二 (環境再生保全機構 石綿健康被害救済部 顧問医師)	305 室
28	10月8日(金) 18:30~20:30	交代制勤務の健康管理 (生涯専門)	夜勤などのシフトワークで生じる交代制勤務障害(SWD)は心身に悪影響をもたらす。SWDの予防と対策について概説する。	普天間 国博 (産業医)	305 室
29	10月14日(木) 18:30~20:30	高齢労働者の健康管理 ～メンタルヘルスを中心に～(生涯専門)	エイジフレンドリーな働き方、職場作りについて皆で考えましょう!	国吉 直美 (産業医)	304 室
締切	10月21日(木) 18:30~20:30	裁判事例から見た安全配慮義務 (生涯専門)	過去の裁判事例を検討することで、紛争に巻き込まれないような対策を構築する。	伊志嶺 隆 (産業医)	305 室
31	10月28日(木) 18:30~20:30	令和3年度 石綿関連疾患診断技術研修会 読影研修(生涯実地)	アスベスト関連疾患の胸部画像の読影実習 講義形式による画像診断のポイント解説(30分程度)の後、実際の症例画像を用いた読影診断実習を行う。	由佐 俊和 (千葉労災病院健診部医師) 上原 隆志 (横須賀市立うわまち病院 呼吸器内科部長心得)	305 室
32	11月1日(月) 18:30~20:30	内科医が取り組む産業メンタルヘルス (生涯専門)	長時間労働面談、メンタル疾患からの復職支援に関する経験、コツを紹介したいと思います。	田名 毅 (産業医)	305 室
33	11月9日(火) 18:30~20:30	動機づけ面接(生涯実地)	動機づけ面接とは、ワクチン忌避に対する介入にも用いられる、両面性を含んだ問題に対処する協力的な面接スタイルです。本講座ではその概要を説明します。	清水 隆裕 (医師・公認心理師)	305 室
34	11月26日(金) 18:30~20:30	参加型職場環境改善ツールの使い方 (生涯実地)	職場改善のためのヒント集(メンタルヘルスアクションチェックリスト)とメンタルヘルス改善意識調査票(MIRROR)の使い方を知りましょう。	田原 裕之 (産業医)	305 室
締切	12月8日(水) 18:30~20:30	産業医が取り組むコロナ危機の職場のメンタルヘルス対策(生涯専門)	コロナ危機下の職場のストレス・メンタルヘルス対策について、産業医がいかに最新の情報を踏まえて、対策を立てていくか、具体的に学んでいただきます。	山本 和儀 (産業医)	305 室
締切	12月14日(火) 18:30~20:30	With CORONA, After CORONA 時代における健康管理 (生涯専門)	コロナ禍における健康管理は、感染拡大防止のみならず生活習慣病予防及び健康増進の対策が必要となります。本講習会では、コロナ禍における労働者の健康管理についてまとめます。	崎間 敦 (産業医)	305 室
37	1月19日(水) 18:30~20:30	産業医学メンタルヘルス・ストレス チェック事例検討会(Ⅰ) (生涯実地)	ストレスチェック及びメンタルヘルス対策に関連した企業及び個別の事例について検討することを通して、実践的な問題解決法を学びます。	山本 和儀 (産業医)	305 室
38	1月21日(金) 18:30~20:30	作業環境管理と作業環境測定器の使い方(生涯実地)	作業環境測定の概要を説明し、また、「デジタル粉じん器」や「検知器」等の測定機器の使い方を説明いたします。	狩俣 栄作 (作業環境測定士)	305 室
締切	1月28日(金) 18:30~20:30	使用者・産業医等問われる法的責任 ～裁判例を中心に～(生涯更新)	使用者が労働者に対して負う安全配慮義務について、事例を基に「裁判ではどのような点が問題となるのか」を学びます。	石井恵介 (弁護士)	304 室
40	2月10日(木) 18:30~20:30	治療と仕事の両立支援 ～相談支援の現場から～ (生涯専門)	「治療と仕事の両立支援」は関係機関と連携して取り組むことが大切です。労働者・事業場の相談事例からサポートにあたる関係機関や関係者の役割や関わり方について考えます。	千葉 千尋 (保健師) 金城 由紀子 (社会保険労務士)	305 室
41	2月16日(水) 18:30~20:30	産業医学メンタルヘルス・ストレス チェック事例検討会(Ⅱ)(生涯実地)	ストレスチェック及びメンタルヘルス対策に関連した企業及び個別の事例について検討することを通して、実践的な問題解決法を学びます。	山本 和儀 (産業医)	305 室
42	2月17日(木) 18:30~20:30	ワークエンゲージメント (生涯専門)	ネガティブからポジティブなメンタルヘルス対策でいきいき職場形成を目指す。	伊志嶺 隆 (産業医)	305 室

◆申込書 FAX: 098-859-6176

※キャンセルの場合は必ず御連絡下さい。※切らずにお送りください。

フリガナ 氏 名	研修会 番 号
所属機関 (事業場名)	所属部署
職 種	1. 産業医 2. 産業看護職(保健師・看護師) 3. 衛生管理者 4. 人事・労務・安全衛生担当者 5. 事業主 6. 労働者 7. その他()
電話番号	() - FAX () -
メルマガ希望者	E-mail

沖縄県医師会では、事業場からの産業医紹介依頼に対応するため、産業医としての契約を希望されている先生方の情報を取りまとめたいと考えております。ご協力いただける方は下記事項に記入いただき提出をお願い致します。

※事業場との契約内容(報酬等)については、事業主と産業医の相談により決定となります。

産業医氏名		診療科目	
医療機関名			
住 所			
電話番号		FAX	
メールアドレス			

項 目	ご 希 望 条 件
実施可能件数	1件 ・ 2件 ・ 3件 ・ 4件 ・ 5件以上
事業所規模	従業員数 ① 50人～99人 ② 100人～149人 ③ 150人以上
業種について	①建設業 ②製造業 ③運送業 ④サービス業 ⑤IT業 ⑥その他（ ） ⑦特になし
活動希望地区	①北部 ②中部 ③南部 ④那覇市内 ⑤本島全域 ⑥離島可
事業所への訪問・実施曜日 (事業所訪問は基本月1回)	①企業の都合に合わせる ②双方相談のうえ調整
活動可能な曜日・時間 について	① 月 ・ 火 ・ 水 ・ 木 ・ 金 ・ 土 ・ 日 ②第()曜日 ③指定なし 希望時間帯 (午前 ・ 午後 ・ 時以降 ・ 特になし)
ストレスチェックの 実施者 になる ことについて	① 承諾する ②承諾しない ③要相談
ストレスチェックの 共同実施者 に なることについて	① 承諾する ②承諾しない ③要相談
ストレスチェック後の高ストレス者 に対する面接指導について	① 実施可能 ②実施不可 ③要相談
地区医師会との情報共有	① 許可する ②許可しない

連絡先
沖縄県医師会 業務1課(産業医担当)
TEL : 098-888-0087
FAX : 098-888-0089
Mail: g1@okinawa.med.or.jp

講演会・例会のご案内

(11月10日～1月9日)

カリキュラムコード(略称:CC)

医師のプロフェッショナルリズム	1 全身倦怠感	18 けいれん発作	35 胸やけ	52 不安	69
医療倫理:臨床倫理	2 身体機能の低下	19 視力障害、視野狭窄	36 腹痛	53 気分の障害(うつ)	70
医療倫理:研究倫理と生命倫理	3 不眠	20 目の充血	37 便通異常(下痢、便秘)	54 流・早産および満期産	71
医師-患者関係とコミュニケーション	4 食欲不振	21 聴覚障害	38 肛門・会陰部痛	55 成長・発達の障害	72
心理社会的アプローチ	5 体重減少・るい瘦	22 鼻漏・鼻閉	39 熱傷	56 慢性疾患・複合疾患の管理	73
医療制度と法律	6 体重増加・肥満	23 鼻出血	40 外傷	57 高血圧症	74
医療の質と安全	7 浮腫	24 嘔声	41 褥瘡	58 脂質異常症	75
感染対策	8 リンパ節腫脹	25 胸痛	42 背部痛	59 糖尿病	76
医療情報	9 発疹	26 動悸	43 腰痛	60 骨粗鬆症	77
チーム医療	10 黄疸	27 心肺停止	44 関節痛	61 脳血管障害後遺症	78
予防と保健	11 発熱	28 呼吸困難	45 歩行障害	62 気管支喘息	79
地域医療	12 認知能の障害	29 咳・痰	46 四肢のしびれ	63 在宅医療	80
医療と介護および福祉の連携	13 頭痛	30 誤嚥	47 肉眼的血尿	64 終末期のケア	81
災害医療	14 めまい	31 誤飲	48 排尿障害(尿失禁・排尿困難)	65 生活習慣	82
臨床問題解決のプロセス	15 意識障害	32 嚥下困難	49 乏尿・尿閉	66 相補・代替医療(漢方医療を含む)	83
ショック	16 失神	33 吐血・下血	50 多尿	67 その他	0
急性中毒	17 言語障害	34 嘔気・嘔吐	51 精神科領域の救急	68	

開催日	場所	名称	講師	CC	問合せ先 参加費
11/11 (木) 18:30	那覇市 (Web講演会)	閉塞性呼吸器疾患の多職種連携について考える会in沖縄—適切な薬剤選択・吸入支援とは— (Web講演会) (日医生涯教育講座) ①多職種連携による吸入支援の在り方～目からウロコの吸入支援～(仮) ②今と未来を見据えたCOPD治療(仮)	①井本 久紀(霧が丘つだ病院慢性呼吸器疾患認定看護師) ②松永 和人(山口大学大学院医学系研究科呼吸器・感染症内科教授)	①10)0.5単位 ②46)1.0単位	アストラゼネカ(株) 澤田 凌 070-2276-4270 参加費 なし
11/13 (土) 14:00	沖縄ハーバービューホテル (WEB配信有り)	第121回九州医師会医学会 (WEB配信有り) (日医生涯教育講座) 台湾の医療提供体制(COVID-19対策を含めて)	邱 泰源(中華民国醫師公會全國聯合會理事長)	8)0.5単位 12)0.5単位	沖縄県医師会 平木 怜子 098-888-0087 参加費 なし
11/14 (日) 09:10	沖縄ハーバービューホテル (Web講演会)	第121回九州医師会医学会 第3分科会外科学会(Web講演会) (日医生涯教育講座) ①Society5.0における大腸外科診療 ②難治性悪性腫瘍に対する治療戦略 ③肺がん外科治療の進歩	①竹政 伊知朗(札幌医科大学消化器外科教授) ②星野 浩延 他2名(沖縄病院 他2施設) ③田中 文啓(産業医科大学病院)	①10)1.0単位 ②15)0.5単位 ③9)1.0単位	沖縄県外科会 渡真利 早苗 098-898-2121 参加費 なし

//////////////// 講演会・例会のご案内 //////////////////

開催日	場所	名称	講師	CC	問合せ先 参加費
11/14 (日) 10:00	ノボテル沖縄那覇 (WEB配信有り)	第121回九州医師会医学会第6 分科会リハビリテーション医学会 (WEB配信有り) (日 医生涯教育講座) ①四肢先天異常児のリハビリテ ーション 上肢を中心に ②沖縄県における神経発達症の リハビリテーションの現状と 課題 ③神経難病に対するリハビリテ ーション ④離島中核病院における試み ーリハビリテーション診療技術 と視点を専攻医教育に取り 組むー	①金谷 文則(富永草野病院理事長) ②城間 直秀(発達神経クリニック ブロップ理事長・院長) ③渡嘉敷 崇(国立病院機構沖縄病院 副院長/脳神経内科部長) ④本永 英治(沖縄県立宮古病院 病院長)	①10)1.0単位 ②72)1.0単位 ③6)1.0単位 ④1)1.0単位	沖縄県リハビリテーション 医学会・協会 琉球大学大学院整形外科 医局 多和田 098-895-1174 参加費 なし
11/14 (日) 10:00	パンフィックホテル (Web講演会)	第121回九州医師会医学会第2 分科会小児科学会/第74回九州 小児科学会(Web講演会) (日 医生涯教育講座) ①小児期からの非アルコール性 脂肪性肝疾患(NAFLD)診療 の最前線 ②早い発育と早い老化:小児科医 からの視点	①吉年 俊文(沖縄県立中部病院 小児科) ②井原 健二(大分大学医学部小 児科学講座教授)	①1)0.5単位 73)0.5単位 ②19)0.5単位 72)0.5単位	九州小児科学会 兼次 拓也 098-895-1154 参加費 なし
11/14 (日) 17:00	沖縄県小児保健 協会 (Web講演会)	第121回九州医師会医学会第4 分科会産科婦人科学会/第52回 沖縄産科婦人科学会学術集会 (Web講演会) (日 医生涯教育講座) 婦人科がんの個別化医療～激動 の時代を乗り越える！～	高野 政志(防衛医科大学校産科婦 人科学教授)	0)1.0単位	沖縄産科婦人科学会 仲田 しのぶ 098-895-1177 参加費 なし
11/18 (木) 19:00	Zoomを使用しての オンライン開催	令和3年度 那覇市在宅医療・介 護連携推進事業 第4回在宅医 療・介護スクラム塾(多職種連携 研修会)(オンライン開催) (日 医生涯教育講座) 『リハビリテーション』	松川 英一 氏(かなさん内科クリニック 理学療法士)	19)0.5単位 61)0.5単位 62)0.5単位	那覇市医師会 那覇市在宅医療・介護連 携支援センター ちゅい しーじー那覇 098-860-5666 参加費 なし
11/20 (土) 16:00	沖縄県医師会館	令和3年度沖縄県スポーツ医学 研究会 (日 医生涯教育講座) ①足関節外側靱帯損傷～どう 評価して、どう治療する？～ ②スポーツ医学を学問にしよう	①寺本 篤史(札幌医科大学医学 部整形外科講座講師) ②松本 秀男(日本スポーツ医科 学財団理事長)	①62)1.0単位 ②1)1.0単位	沖縄県スポーツ医学研究 会 琉球大学大学院整形外科 医局 多和田 098-895-1174 参加費 整形外科医2,000 円・他科医師1,000円
11/20(土)	WEB開催	日本緩和医療学会 第3回九州支部学術大会(Web講 演会) テーマ:今ここでのち・こころ・く らしをHugする	シンポジウム3題・フォーラムディスカ ッション・教育講演・パネルディスカッ ション・ミニワークショップ・共催講演4題・ 一般演題・オンデマンドセミナー4題・ ケアカフェ ※詳細についてはホームページをご 確認ください。		豊見城中央病院 全人的痛みセンター 〒901-0243 豊見城市字上田25番地

//////////////// 講演会・例会のご案内 //////////////////

開催日	場所	名称	講師	CC	問合せ先 参加費
11/22 (月) 19:00	南風原町 (Web講演会)	令和3年度かかりつけ医等心の 健康対応力向上研修(Web講演 会) (日医生涯教育講座) ①コロナ禍における県民のメン タルヘルス～新型コロナウイルス 感染症に関するメンタルヘルス 支援を通して～ ②自殺予防はみんなの仕事～ 継続すべきこととコロナ禍での ポイントについて～	①平安 良次(沖縄県公認心理士協会 会長) ②張 賢徳(日本自殺予防学会理事長 /帝京大学医学部客員教授)	①10)0.5単位 14)0.5単位 ②5)0.5単位 70)0.5単位	沖縄県立総合精神保健福 祉センター 比嘉 文月 098-888-1443 参加費 なし
11/25 (木) 19:30	沖縄県市町村自治 会館	医科学習会 (日医生涯教育講座) 沖縄県における疫学状況と今後 の対策	高山 義浩(沖縄県立中部病院感染 症内科・地域ケア科副部長)	8)0.5単位 9)1.0単位	沖縄県保険医協会 事務局:西銘 098-832-7813 参加費 なし
12/14 (火) 19:00	沖縄県医師会館 (又はWeb配信)	沖縄腎フォーラム定例会 (日医生涯教育講座) ①文献紹介・抄読会 ②定例検討会	①未定(未定) ②未定(未定)	①9)0.5単位 15)0.5単位 ②1)0.5単位 73)0.5単位	沖縄腎フォーラム 松原 隆 098-851-3077 参加費 なし

※最新の情報はホームページで逐次更新していますので、ご確認ください。

※お願い：1月10日～3月9日迄の講演会例会等が決まれば、11月25日迄に業務1課(098-888-0087)へご一報下さい。





医師の働き方改革応援特報版

(特報版 2021. 03)

沖縄県医療勤務環境改善支援センター

(略称：勤改センター)

事業実施者：沖縄県社会保険労務士会

委 託 者：沖縄県保健医療部医療政策課、沖縄労働局雇用環境均等室

事業の期間：令和3年4月1日～令和4年3月31日まで

▼医療勤務環境改善支援センターとは？

- ・当センターは、改正医療法（H26年）により設置されており、一昨年度までは沖縄県医師会様が受託、運営していました。昨年度8月1日以降は沖縄県社会保険労務士会が運営を行っています。また県主催の運営協議会において広く意見を聞きながら運営されます。（運営協議会を構成する諸団体）※敬称略、順不同、令和元年度実績による
沖縄県医師会/沖縄県看護協会/沖縄県/沖縄労働局/医療経営コンサルタント協会沖縄県支部/沖縄県社会保険労務士会

▼この事業では医師の働き方改革への取組みを応援します！

- ・当センターでは、医療機関からの労務管理に関するご相談に対して、電話、メール、訪問などの方法で応じています。特に「医師の働き方改革支援」「BC 水準指定の取組み支援」に力を注いでいます。当センターは皆さまと一緒に課題解決に取り組めます。
- ・医療勤務環境改善マネジメントシステム導入の支援・医療機関における勤務環境の自主的な改善を促すPDCAサイクルの導入と定着を支援します
- ・BC水準の認定に向けた相談・支援・例：医師の労働時間短縮計画の策定に関すること
- ・医師の労働時間短縮に向けた取組みの相談・支援・例：厚労省が行う医師の労働時間短縮に向けた緊急的な取組に関すること
- ・院内での労務管理に関する勉強会・研修会・WS（ワークショップ）などへの講師派遣

※ご相談時の病院名、相談者名、内容は労働局・労働基準監督署に報告しません。

▼私たちにお声掛けください！▼

相談受付：沖縄県医療勤務環境改善支援センター事務局

電話 098-988-1430（案件をお聞きして担当から連絡します）

（住所）那覇市泊2丁目T&Gビル601B

直 通：事業担当 社会保険労務士 加藤 浩司

（携帯）090-6426-0854

（取れない場合は留守番電話に要件、連絡先をお入れください。担当加藤より折返し連絡します）

（メール）Koji-koji@mug.biglobe.ne.jp

沖縄県医療勤務環境改善支援センターの設置と概要

- ・ 設置日：2020年8月1日設置（令和1年度まで沖縄県医師会様が受託）
- ・ 場 所：那覇市泊2丁目T&Gビル601-B
- ・ 電 話：098-988-1430（平日9時～5時まで開所）
- ・ メール：contact.med@okinawa-med-kinmukaizen.jp
- ・ URL：www.okinawa-med-kinmukaizen.jp

- ・ 相談は、訪問または近隣の沖縄県社労士会会議室などを利用できます。
- ・ アドバイザー14名が登録（内6名が交替でセンターで執務）
（※14名は社会保険労務士、その他経営面の相談に対しては
医業経営コンサルタント協会に対応を依頼します）



勤改センターでの相談のポイント

- ポイント①：医療機関との信頼関係構築を第1に。
- ポイント②：医療機関の自主的な改善が前提です。
- ポイント③：すべての医療従事者が事業対象です。



沖縄県医療勤務環境改善支援センターの活動のご紹介（R2年度の実績）

<相談件数>

前年度85件/年間

月	相談受付	訪問相談	院内研修	個別支援
8月	5	3		
9月	2	2	1	1
10月	4	2		3
11月	4	2		1
12月	9	6	1	2
1月	5	2		3
2月	4	2	1	4
3月	2	1		4
小計	35	20	3	18

※相談受付件数は、訪問相談件数を含んだ数です。

これまで、沖縄県勤改センターでは、
・ 病院長懇談会など関係者との丁寧な連携実施
・ 局監督課長、監督官などによる情報提供をコーディネート
・ 労務管理者向けセミナー、全医療機関向け広報などに注力

<相談内訳>

労働時間（把握、宿日直、残業など）	8	23%
医師の働き方改革について	6	17%
ハラスメントについて	5	14%
休業（新型コロナ、休業手当含む）	3	9%
労働条件・労働契約	3	9%
人材育成・定着（人事考課含む）	3	9%
育児・介護休業の関係	1	3%
同一労働同一賃金	1	3%
タスクシフト	1	3%
安全衛生管理体制	1	3%
異動	1	3%
懲戒	1	3%
休職	1	3%
小計	35	100%

沖縄県医療勤務環境改善支援センターの活動について（R 3 年度のメニュー）

（１）相談活動（窓口相談・訪問相談）

重点はBC水準指定事務の支援の取組み

（２）個別支援

- ①医療勤務環境改善マネジメントシステムの普及促進（PDCAサイクル）
- ②BC水準の指定に関する意向確認活動
- ③BC水準（時短計画策定・36協定締結など）に関する個別相談活動
- ④BC水準の指定に関するモデル事業
- ⑤働き方税制（特別控除制度）の説明・援助活動

・漏れなくまわり丁寧な説明
・県内の参考事例を拾上げる
（時短計画、36協定様式、時短の取組、時間把握方法）

（３）情報提供・関連団体との連携

- ①訪問・リーフレット・HP・関連団体への働き掛けなど
- ②労務管理改善に関するニュースの作成
- ③労務管理改善セミナー（労務管理担当者向け）
- ④BC水準指定に関するセミナー
- ⑤連携（県医師会、県看護協会、医業経営コンサルタント協会、県、労働局）

県・労働局・勤改センターから情報提供

ポイント①：どの医療機関がBCの申請をするのか
ポイント②：36協定＝だれが、どれだけ残業するのか・・・「時間把握」が課題！
ポイント③：時短計画＝どうやって残業を減らすのか

重点活動（BC水準指定に関する援助）の具体化（構想）と問題意識とは？

（１）訪問活動

- ①申請が予測される個別医療機関に意向と取組み状況を確認・利用勧奨
- ②継続的な援助を求められた場合に、月1回など定期的に訪問し援助
- ③モデル事業（継続的な支援とともに、取組の公開共有を目指す）
- ④スポット対応（求められた時に対応します）

WLB・産休育休・年休

契約形態（雇用、出向、委託、年休）

（２）企画１：公的病院へのアプローチ

- ①管理層の協議体などで状況確認とセンター利用勧奨
- ②個別医療機関に対し、モデル事業での対応を打診（救急、離島、研修医の3パターンなど）
- ③継続的な援助と事例の蓄積、適時広報（出来るだけ県内での取りこぼしなく対応へ）

時間把握（宿日直・自己研鑽・兼業）

（３）企画２：関係行政機関から具体的で正確な情報（遅くとも8月までに1回はどうか？）

※県から時短計画申請手続き、労働局から36協定注意事項、何がどこまで決まっているのか又いないのか

（４）企画３：各医療機関の担当者の先生方の懇談会・情報共有・意見交換

※勤改センターから問題意識の提示も行いつつ、各病院の問題意識も交流、関連団体へフィードバックも
※いつまでに何をやるのが正解か不明で不安な状況（決して皆さまの取組は遅れていません）

（５）企画４：事務長など事務担当の懇談会・情報共有・意見交換

※より実務的な問題での課題の抽出と解決策の模索（事務方のサポート力の向上を目指す）

医師年金

<認可特定保険業者>公益社団法人 日本医師会

ご加入のおすすめ

加入資格 64歳6カ月未満の日本医師会会員（会員区分は問いません）

☑ 年金検討チェックリスト

- ☐ 公的年金では現役時代の生活水準を維持できない
- ☐ コツコツ積立てて十分な年金を確保しておきたい
- ☐ 一生涯受け取れる年金が望ましい
- ☐ 受け取れる年金の額を効率的に増やしたい
- ☐ 医師独自のライフスタイルにあった年金がいい
- ☐ 加入前に受取年金額のシミュレーションを確認したい

1つでも該当したら…

医師年金ご加入をおすすめします！

医師年金ホームページで、
簡単シミュレーション！

医師年金 検索

<http://www.med.or.jp/nenkin/>

ご希望の受給額や保険料、生年月日を入力するだけで、簡単に受取年月額のシミュレーションができます。
ぜひお試しください。

個別プランの設計や詳しい資料のご請求はこちら



公益社団法人
日本医師会 年金・税制課

TEL : 03-3946-2121(代表) / 03-3942-6487(直通)

FAX : 03-3942-6503

受付時間：午前9時30分～午後5時（平日）

E-mail : nenkin@po.med.or.jp

保険料からプラン作成

保険料	
●基本：月払 加算：月払	
加算年金 (10万円)	月払保険料 60,000円
基本年金	月払保険料 12,000円
支払期間 24年 6ヶ月 (294回)	
合計月払保険料	72,000円

設定条件をご確認ください。

試算日	平成 27年 5月 7日
生年月日	昭和 50年 1月 1日
試算日年齢	40歳
加入申込期限	平成 27年 6月 15日
加入予定年月	平成 27年 7月
加入時年齢	40歳 6ヶ月
加算払込開始年月	平成 27年 7月
年金受取開始年月	平成 52年 1月
年金受取開始年齢	65歳
払込保険料累計	21,168,000円

注意事項です。お読みください。

- ・加入申込期限は、15日が土日・祝祭日の場合は、その前日となります。
- ・「終身年金」は、加入者ご本人であれば一生受取続けることができます。
- ・「保証期間15年」では、受給者ご本人が保証期間中にお亡くなりになった場合、15年の残りの期間について、ご遺族の方が必ず受け取ることができます。
- ・「受取コースの選択(81～84)」は、受取開始の時に決めます。
- ・受取開始年齢は、75歳まで延長できます。
- ・「受取年金月額」は概算です。現在は年利1.5%での計算となっており、将来、年金の制度改定が行われる時は、変更になる場合があります。

受給年金	
●81コース	
加算年金	保証期間15年 86,100円 終身
基本年金	保証期間15年 17,200円 終身
受取月額	103,300円 103,300円
15年受取総額	18,594,000円
●82コース	
加算年金	5年指定型 368,600円
基本年金	保証期間15年 17,200円 終身
受取月額	385,800円 17,200円 17,200円
15年受取総額	25,212,000円
●83コース	
加算年金	10年指定型 191,100円
基本年金	保証期間15年 17,200円 終身
受取月額	208,300円 17,200円 17,200円
15年受取総額	26,028,000円
●84コース	
加算年金	15年指定型 132,100円
基本年金	保証期間15年 17,200円 終身
受取月額	149,300円 17,200円
15年受取総額	26,874,000円

20150601S8

日本医師会が運営する医師のための私的年金

日本医師会 **医師年金**

[トップページへ](#)
[サイトマップへ](#)
[個人情報保護方針](#)
[重要事項のお知らせ](#)

[医師年金の特長](#)
[医師年金のしくみ](#)
[医師年金シミュレーション](#)
[よくあるご質問](#)
[手続きガイド](#)
[お問い合わせ・資料請求](#)

医師年金シミュレーション

▶ 保険料からシミュレーション

▶ 受給年金からシミュレーション

日医ホーム
ページから
の場合

ホーム → 医師年金シミュレーション

医師年金シミュレーション

1

保険料から
シミュレーション

ご希望の保険料を入力すると、
受給する年金額の概算が試算できます。

2

受給年金から
シミュレーション

ご希望する年金額を入力すると、
保険料の概算が試算できます。

3

マイページ登録

お名前、生年月日、メールアドレスで簡単
に登録できます。

[※仮申し込み登録までの流れはこちら](#)

4

マイページへログイン

シミュレーションの結果を最大5件まで保存
できます。
年金の受取開始年齢の延長や、加算保険
料増額の際の試算等、詳細なシミュレ
ーションが可能です。

日本医師会 **医師年金** スマホ・パソコンで **簡単手続き**

加入資格は日本医師会会員で64歳6カ月未満の方です
(申込みは、満64歳3カ月までをお願いします。)

医師年金HP画面

アニメーションで仕組みを確認

シミュレーションで保険料を試算

一括払専用加入申込書プリントアウトで
申込み(保険料のお支払いは後日ご案内します)

※重要事項説明書をよくお読み下さい(申込書の3、4ページに記載)

お問い合わせ先

日医 年金・税制課 ☎ 03-3942-6487(直) (平日 9時半～17時)

— 103 (655) —

生涯教育／プライマリ・ケア

- 字数制限
生涯教育 6,000 字以内とし、冒頭に 400 字程度の要旨をつけて下さい。
プライマリ・ケア 2,500 字以内
(図表 1 枚を 400 文字数に換算する必要がある)
- 内容
生涯教育は、原則学術・実地医家にとって有用性の高い総説論文
プライマリ・ケアは、病診連携、病病連携等に資していただけるような、日常的な症状に関するミニレクチャー的な内容。
- 原稿の書き方
 - ①原稿はできるだけ Word、Excel、PowerPoint にて作成して下さい。
 - ②原則として常用漢字、現代かな使い、算用数字を使用して下さい。
 - ③図、表、写真の挿入場所を文中に指定して下さい。
 - ④図表にはタイトルをつけてください。
 - ⑤写真、図、表は原則として 10 枚以内とし、そのまま製版出来る鮮明なもので、特に写真は明瞭なものでご提出下さい。
 - ⑥人を対象とした研究については、ヘルシンキ宣言を遵守したものであること、また症例を提示する際（症例報告）は、患者さんのプライバシーの保護やインフォームドコンセントなどに関する倫理的な問題に十分配慮されていること。
個人が特定され得る疾病に関しては、本人の同意を得るようご配慮下さい。
- 文献
引用文献は最小限度（原則として 10 以内）とし、論文中にでてくる順に番号をつけ、末尾に以下の形式で一括して下さい。本文中には、引用部の右肩に 1) 2) 3) …の番号を付してください。引用の図表は出典を明記して下さい。
著者は複数の場合は筆頭者、他で記入下さい。
引用文献の記載項目並びに順序
- 雑誌の場合
著者名：論文題名. 雑誌名 発行年；巻：ページ。
Ahonkhai VL, et al : Failure of pneumococcal vaccine in children with sickle-cell disease. N Engl J Med 1979 ; 301 : 26-27.
- 単行本の場合
著者名：書名. (版数), 発行所, 発行所の所在地, 発行年；引用ページ。
Koch FC, et al : Practical Methods in Biochemistry. 2nd ed, William Willkins, Baltimore, 1948 ; 212 (or 212-215) .
- シリーズなど
執筆者名：執筆部分題名. 編者名, シリーズ名, 巻数, 発行所, 発行地, 発行年；引用ページ。
Kovec A : The liver and spleen. ed Bolinger RE, In Guide to Diagnostic Imaging, vol 1, Medical Examination Publishing Co Inc, New York, 1982 ; 123-140.
- ウェブサイトの場合
執筆者名 (編者名)：サイト名. URL (最終閲覧日)
運動器の 10 年・日本協会：学校での運動器検診の手引き. http://www.bjd-jp.org/medicalexamination/guide_0.html (2016 年 8 月 16 日閲覧)

月間（週間）行事お知らせ

- 字数制限：2,000 字以内
- 内 容：医療関係の行事等について

発言席

- 字数制限：2,500 字以内
- 内 容：会員の先生方のご意見や主張等

勤務医／臨床研修医

- 字数制限：勤務医 2,000 字以内、臨床研修医 1,500 字以内
- 内 容：勤務医・臨床医の先生方からのご意見・ご要望

地区医師会

○字数制限：1,000 字以内

○内 容：各地区医師会の活動状況

(例：テレビ番組やラジオ番組の放映、かかりつけ医推進事業等の厚労省モデル事業や独自の院内活動等)

若 手

○字数制限：1,500 字以内

○内 容：今後の進路を決める先生方へのアドバイス等について（若手医師への提言、日常診療のコツ、開業願末記等）

随筆 / 新春干支随筆 / 緑陰随筆

○字数制限：随筆 2,500 字以内、新春干支随筆・緑陰随筆 1,500 字以内

○内 容：日常診療のエピソード、青春の思い出、一枚の写真、趣味などの他、紀行文、特技書評、新年の抱負など

本の紹介

○字数制限：1,500 字以内

○内 容：感動した、生き方が変わった、診療が変わった、新たに真実を知った本等々、会員の皆様の座右の本の紹介

いきいきグループ紹介

○字数制限：1,000 字以内

○内 容：各研究会、スポーツ同好会や摸合等の活動紹介

身近な闘病記

○字数制限：2,000 字以内

○内 容：ご自身又はご家族の病気療養の経験談について

追悼文

○字数制限：1,500 字以内

○内 容：お亡くなりになられた先生への追悼

広 告

○沖縄県医師会報の品位、及び体制を損なわぬものとし、採否については広報委員会で審議のうえ決定する。

投稿の方法

1. 会報への投稿の第一執筆者は、原則として沖縄県医師会会員であること。
2. 原稿には題名、氏名、勤務先(所属)を明記して下さい。
3. 図・表・写真は原則モノクロ掲載とし、カラーの場合は実費をご負担願います。
4. 送付方法は出来ましたらメール送信又はCD-R等での送付をお願いします。
5. 同一会員の原稿掲載回数は、1期(4～7月号)、2期(8～11月号)、3期(12～3月号)の各期ごとに1編のみ。
6. 写真の解像度は350以上をお願いします。表紙写真に関しては、会員本人撮影のものとする。
7. 掲載の採否は広報委員会で決定し、内容によっては原稿の修正等をお願いする事があります。

著作権

本誌並びにホームページに掲載される著作物の著作権は沖縄県医師会に帰属します。

送付先・問い合わせ先

沖縄県医師会 庶務課

〒901-1105 南風原町新川 218-9

TEL：098-888-0087 FAX：098-888-0089

E-mail：kaihou@ml.okinawa.med.or.jp

平成 29 年 7 月 1 日より

朝夕の風に肌寒さを感じ、ここ沖縄でもいつの間にか夏から秋へと季節の移り変わりを感じられるようになりました。北の国からは初雪の便りも届き、今年も1年が終わりに近づいてきていることを実感させられます。

猛威を振るった新型コロナウイルス感染拡大の第5波がようやく落ち着きをみせ、各医療機関でも少しずつ日常診療を取り戻しつつあるのではないかと推察いたします。ただ年明けには第6波の襲来も懸念されており、これからのウィズコロナの時代で県民が安心して受診できる医療を提供するためにも、今後ともコロナに対する備えを怠ることのないようにしていきたいものです。

沖縄県医師会報は今号も10、11月合併号となります。表紙は伊志嶺隆先生から寄せられた幻想的なモスクの写真で飾られています。

冒頭では、去る7月12日に急逝された、沖縄県医師会前会長 故 宮城信雄先生の合同葬のご報告、並びに江夏力先生、玉城信光先生、宮里達也先生、照屋勉先生からの追悼文のご寄稿があります。親交の深かった先生方の文章からは宮城先生のお人柄がにじみ出ているように思いました。30年余り前、私自身、外科医としての研修時代に沖縄第一病院でお世話になりました。当時感じた、宮城先生の穏やかな表情と優しい語り口の中に揺るぎない信念を滲ませていたお姿は、その後もずっと変わることはありませんでした。初めて完走したNAHAマラソンも、初めて出たゴルフコースも宮城先生のお声掛けにより参加したものでした。心よりご冥福をお祈りいたします。

また沖縄の眼科医界に多大な功績を残された故 比嘉弘文先生の追悼文も安里良盛先生よりご寄稿があります。

オンラインで開催された令和3年度都道府県医師会勤務医担当理事連絡協議会、九州医師会連合会第391回常任委員会のご報告が涌波理事、安里会長よりそれぞれあります。

生涯教育は、琉球大学病院集中治療部の瀬上竜也先生に「重症呼吸不全に対する人工呼吸管理」について執筆していただきました。難しい内容を非専門医にもわかりやすく解説されており、また新型コロナウイルス肺炎管理のポイントについてもご説明があります。

プライマリ・ケアコーナーでは、那覇市立病院の旭朝弘先生より「クリニカルパスについて」と題して、パスの歴史、概念、メリットについて自施設での現状も含め解説があります。

月間（週間）行事のお知らせは5編。琉球大学整形外科 西田康太郎先生の「骨と関節の日（10/8）に寄せて」では、骨粗鬆症に伴う大腿骨近位部骨折の割合が沖縄は全国の中で最悪であること、ロコモティブシンドロームに対する認知度が全国最低であることが示され、沖縄県整形外科医会が中心となって啓発普及に向けた新たな取り組みを開始し、県民の健康寿命を延ばすための活動をしていることが述べられています。また琉球大学病院周産母指センター 吉田朝秀先生からは「乳幼児突然死症候群（SIDS）対策強化月間に寄せて」と題して、SIDS予防に対する予防やSIDSが社会に与える影響と不安への対処について述べられています。

発言席での県立北部病院 諸井明仁先生の「子宮脱について」と随筆コーナーの同仁病院 山内裕樹の「ICTについて思うこと」も興味深い内容です。

昨年度から県民向けの公開講座の開催ができない状況が続いています。大きな会場で多数の県民を集めての公開講座は今後とも開催が難しい状況が続くと予想されます。県医師会広報委員会としては県民の健康維持のための情報発信をこれからどのように行っていくか検討中です。この先恒例の様々な医師会行事が徐々に再開となり、この医師会報の中で報告できる内容が増えてくれることを願いたいと思います。

広報委員 藏下 要